

令和6年度大学・高専機能強化支援事業
(支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)
事業概要

令和6年2月申請時点

1. 基本情報

大学名	明治国際医療大学	設置区分	私立
学校種	大学	都道府県	京都
大学全体の総収容定員	980名	※令和5年5月1日時点	
学部学科 組織構成	鍼灸学部（鍼灸学科）、保健医療学部（柔道整復学科、救急救命学科）、看護学部（看護学科）		
事業計画名	明治国際医療大学生態食農学部設置計画		

2. 事業概要

<p>建学の精神「人と人との和・人と自然との調和・東洋と西洋の融和」を掲げている本学は、食や農、およびそれを通じた地域環境や地球環境への関心を高める若者層の受け皿となり、有機農産物の生産から消費に至るまでをトータルに見直し、持続可能な社会形成に貢献できる人材養成のため、<u>日本の四年制大学で最初となる「有機農業による生産」、「有機農産物の物流や加工」、「食科学分析」に特に焦点を絞った、生態食農学部</u>（入学定員100名、収容定員400名）を令和9年4月に開設する計画である。</p> <p>大学の立地する京都府南丹市は中山間地域に位置し、農業就業者の減少や耕作放棄地の増加などの食農関連の社会問題を抱えており、新学部は地元自治体と協働して取り組む。さらに、南丹市の<u>実習先農場において、有機農法を取り入れながら、地域の農業に新しいビジネスチャンスを生み出し、卒業人材の出口とする</u>。また、そのノウハウを活かして全国各地における同様の試みに中心的人材を提供し、有機農業関連事業者への人材供給を行うとともに有機農産物の流通において、<u>全国レベルで展開する事業者と連携して有機農業拡大を目指す人材養成を行う</u>。</p>

3. 本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和9年度				
認可申請・届出の別	認可申請				
改組内容	学部の新設				
設置等組織名	生態食農学部				
設置等組織の学位分野	農学関係	-	-	-	-
当該学部等の所在地	京都府南丹市日吉町保野田ヒノ谷6-1				
入学定員	新設予定				
収容定員	新設予定				
入学定員の増加数	100名				
他学部等の入学定員の減少数	50名				



事業計画名 明治国際医療大学 生態食農学部 設置計画

基本情報

改組予定年度	令和9年度	設置等組織名	生態食農学部	入学定員増数(合計数)	100
所在地	京都府南丹市	改組内容	学部の新設	入学定員減数(合計数)	50

<社会や地域のニーズ・課題>

- 『みどりの食料システム戦略』において有機農業の拡大が目標とされ、技術革新によって有機農業を拡大する案が出されているが有機農業への科学的アプローチは本格化していない
- 有機農業生産を担える人材や有機農産物の意義と価値を的確に伝えることのできる食品加工や流通における人材も求められている

<設置学部等の概要・コンセプト・特徴など>

- 本学部では、こうした状況を踏まえて、日本の四年制大学で最初となる有機農業による生産、有機農産物の流通や加工、食科学分析に特に焦点を絞った教育プログラムを提供する

<教育内容・育成する人材像>

- 現代の社会ニーズと社会課題に応えるとともに、食や農、およびそれを通じた地域環境や地球環境への関心を高める若者層の受け皿となり、有機農産物の生産から消費に至るまでをトータルに見通し、持続可能な社会形成や地域にも貢献することのできる人材を養成する
- 有機農業生産や有機食品加工、有機食品流通、さらに一般的にSDGsの推進の際に食と環境、健康について総合的な評価が求められる分野において、専門家として携われることのできる人材を育成する
- 本学他学部が医療系であるという特徴を活かして、栄養学、健康科学、生物学、生化学などの科目を共有して、人間と環境の健康を一続きで考えるワンヘルスの考え方に基づいた教育方針を確立する

<連携を通じた教育体制の整備>

- 所在地周辺の有機農業者、有機専門生協および流通業者、有機食品加工業者などから専門家を講師として招聘し、実務に直結する授業を実施する
- 近隣の農学系学部と連携し、PBL型の授業科目を共有して開講し、本学部は有機農業や有機食品に特化した教育を担う

<多様な入学者の確保>

- 農業系高校での説明会や普通科高校も含めた高校において、SDGs時代の未来の食農システムに関する出張授業を実施する
- 社会人の中に有機農業や有機食品加工に関心のある層が存在すると考えられることから学士入学や社会人入試を実施する

